

お客様用

シモタニ製ペレットストーブ メンテナンス方法

いつもシモタニ製ペレットストーブをご使用いただき誠にありがとうございます。この資料はシモタニ製ペレットストーブを安全にご使用いただくためのユーザー向けメンテナンスマニュアルです。

Shimotani

毎日のお手入れ

1 準備

ストーブのお手入れは、必ずストーブが冷めているときに行ってください。

灰で床が汚れないよう、ストーブ前面に新聞紙などを敷きます。灰で手が汚れないように、手袋をすることをお勧めします。



2 燃焼ポットの掃除

ストーブの使用後には燃焼ポットに灰が残ります。燃焼ポットの底に灰が残ったまま起動すると、着火時に大量の煙が発生したり、着火しないことがあります。使用前、または使用後には付属の掃除用ハケで燃焼ポットを掃除します。

使用するペレットの量や質、燃やし方などにより、「クリンカー」という硬い灰のかたまりができることがあります。クリンカーは、掃除用ハケの柄や、割り箸など硬い棒を使って取り除きます。



3 耐熱ガラスの掃除

使用状況により、耐熱ガラスが黒く煤けます。耐熱ガラスが煤けたまま使用すると、炎がきれいに見えなだけでなく、不完全燃焼など燃焼が悪くても確認できなくなります。使用前、または使用後には耐熱ガラスを掃除します。

耐熱ガラスは新聞紙に適量の水と少量の灰を付けて擦るときれいに拭き取ることができます。最後に乾いた新聞紙で乾拭きするとキレイになります。



定期的なお手入れ

1 灰の処理

灰受皿(大)、(小)に灰がたまった灰を捨てます。灰は市町村の条例に従い、適切に処理してください。



2 燃焼室上部の掃除

燃焼室上部には、温風を出すための熱交換パイプがあります。この部分に灰が付着すると、効率が落ちます。

2週間に1度はパイプクリーナーで燃焼室上部を掃除してください。「バッフルプレート」を取り外し、パイプクリーナーの先端を引き出して扉を閉めます。パイプクリーナーを数回出し入れして燃焼室上部を掃除した後、バッフルプレートを取り付けます。

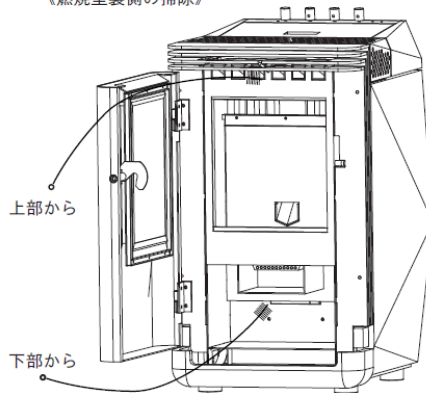


3 燃焼室の裏側

シーズン終わりや、炎に勢いがなくなってきたと感じたら燃焼室の裏側の掃除をします。燃焼室の裏側に灰が付着すると、排気の流れが悪くなり不完全燃焼の原因になります。

バッフルプレートを取り外し、専用ブラシで燃焼室の裏側に付着した灰を掃除します。

《燃焼室裏側の掃除》



4 灰受皿の奥の確認

灰受皿を元に戻す時には、灰受皿の奥にペレットや灰などが残っていないか確認してください。灰受皿の奥にペレットや灰が残っていると、灰受皿がうまく閉まらず、不完全燃焼の原因になります。ペレットや灰がススやペレットがこぼれている場合は掃除機で取り除いてください。



定期的なお手入れ

5 燃料タンク底の掃除

燃料タンクの底にペレットの粉が残っていることがあります。ペレットの粉が多すぎると、燃料詰まりや立ち消えを起こすことがあります。

1ヶ月に1度は燃料を使い切り、燃料タンク底に残ったペレットの粉を掃除機で吸い取ります。

このとき、手や衣服、掃除機のヘッドがスクリューに巻き込まれないよう、コンセントから電源プラグを抜くか、本体背面の主電源を切ってください。



6 バックパネルの掃除

本体背面にほこりや、ペットの毛などが付着すると、高温時にうまく放熱できず、過熱エラーの原因となります。

1ヶ月に1度は家庭用掃除機などで本体背面に付着したほこりを吸い取ってください。



オフシーズンのお手入れ 給排気筒の掃除

1 給排気筒の掃除

給排気筒には使用とともに煤が付着します。オフシーズンになったら、給排気筒を掃除します。

設置状況により、給排気筒の掃除が難しいときは、販売店に相談、依頼してください。



2 立上部分の掃除

立上部分の掃除を行うときは、T字管の底にあるネジフタを取り外します。

底の穴から排気筒ブラシを入れて、給排気筒に付着した煤を掃除します。排気筒ブラシは回すとブラシ部分とつなぎ線が外れることがあるので、回さず上下方向に動かします。



3 横引き部分の掃除

横引部分を掃除するときは、T字管などを外します。給排気筒には簡単に外れないようにロックがあります。ロックを排気側に固定し、回しながら引き出すと給排気筒は外れます。

給排気筒を取り外すとき、取り付ける時には給排気筒の内側に気密用のゴム製リングがあることを確認してください。Oリングが外れていると、隙間から排気が吸われ、不完全燃焼を起こす恐れがあります。

横引部分に付着・堆積した煤を排気筒ブラシで掃除、または掃除機で吸いとります。



※ 販売店によるメンテナンス

ストーブを安全にご使用いただくため、2年に1度は販売店によるメンテナンスを受けてください。

販売店によりメンテナンスの料金やシステムは異なります。ご購入された販売店にお問い合わせください。

オフシーズンのお手入れ 湿気対策など

1 定期的なお手入れを行う

燃焼室の掃除や灰の処理、燃料タンク底の掃除など、定期的なお手入れを全て行います。



2 燃焼室に除湿剤を置く

湿気によるサビを防ぐため、燃焼室に除湿剤を置きます。

3 排気管キャップを取り付ける

オフシーズン中の湿気から燃焼室のサビを防ぐため、排気トップに排気管キャップを取り付けます。

屋外立上の場合、T字管用のキャップを取り付けます。

排気管キャップは、オフシーズン中、給排気筒に鳥や虫などの侵入を防止する役割もあります。



4 電源プラグを抜く

コンセントから電源プラグを抜きます。

